

☆簡易包装と使い捨て製品の使用削減

仕入れや配送において、簡易包装の工夫に取り組んでいます。また、食堂では、リユース箸を使用しています。

☆職場環境担当者会議

IDカードによる紙使用の管理や、独自のフロー図を作成するなど、ごみの減量とリサイクルを進めています。また、リサイクル施設の見学を行うなど、従業員への環境教育に力を入れています。

☆発生抑制の推進

緩衝材やダンボールの再利用を進めるとともに、食堂ではご飯の量の調節やメニューサンプルを実物から写真に変更するなど、廃棄物の発生抑制を進めています。

☆分別排出の徹底

環境予知訓練として分別トレーニングを行い、分別の徹底を図っています。また、館内の清掃会社と東芝の社員による、分別状況のチェック体制を整えています。

食堂の様子



計量システム



分別ボックス



緩衝材・ダンボールの再利用

